

# アウサレーション現場事例



古風な雰囲気や重量制限、予算要件を満足させる性能が評価され、  
B&B 劇場における新たな金属建築にドライビットの  
アウサレーションシステムが主役選ばれました。



ドライビットのアウサレーション外断熱仕上システム(EIPS)を用いて、B&B 劇場開発チームは微妙な歴史的要件を満足しつつ、レンガや石灰岩、コンクリートを含む建物を囲う面を全て取り替えることが出来ました。

しかしながら、ドライビットアウサレーションシステムを使えば、これらの心配事は解消され、結果は劇場の施主のみならず、ハンニバル地区の歴史委員会やその上、一般の住人からも賞賛を受ける唯一無二の建物が出来上がりました。

問題を全て検討したところ、

**ドライビットのアウサレーションは期待に沿うものでした。**

B&B 劇場の戦略計画の責任者であるデニスマッキンタイア氏によれば、「この現場は、これまで施工した中で最も独特で挑戦的な建物の1つでしたが、最もやりがいのある建物の1つでもありました。場所はミシシッピ川から 200m しか離れていないため、地下水位は非常に高くなっています。私たちは栈橋を地表下 20m の岩盤まで掘削しなければなりませんでした。このような歴史的な町では、新しいレンガ造の建物はなじみませんが、値段が高すぎることもあり、また構造の見地からも問題外でした。石工はとても重いのです。私たちは内部に断熱材を内蔵した金属シージ

B&B 劇場の施主が新しい映画館を建てることを決断した時、マクトゥエイン幼少期の故郷であるミズーリ州のハンニバルの繁華街に相応しいものにしたいと考えました。街には新しい劇場が必要とされ、要望もあり、またブロードウェイや主要道路のすぐ角に利用可能な空き地もありました。しかしながら、19 世紀の建物に囲まれた歴史的な町の中で、最先端のマルチスクリーンのデジタル映画館を出しゃばって目立たない様にどうやって建てるのか？ それに加えて、近くのミシシッピ川からの堤防と高水位の制限、極端な基礎状態、及び予算の問題、そして設計および建設が控えめに言っても難しいという問題がありました。

物件名：B&B 劇場  
ミズーリ州、ハンニバル

施主：B&B 劇場  
ミズーリ州、ハンニバル

設計：J プライス設計  
ミズーリ州、リパティ

ドライビットシステム及び仕上材：  
アウサレーション  
カスタムブリック

ドライビット施工：  
エントラップ塗装&乾式壁社  
イリノイ州、クインシー

ドライビット代理店：  
シーリングサブライ  
ミズーリ州、セントルイス

ング製品も検討しましたが、価格が法外でした。」その現場の設計でありミズーリ州、リバティにある J プライス設計のジェフプライス氏はマッキンタイア氏と同じ懸念を持っていました。「この土壌では多数の棧橋を掘削しなければならず、川の地下水面は大きな問題でした。潜在的な建物の動きの制御や割れなしに石工壁を支持しないといけない制限は真に課題となりました。」

問題を全て検討し、開発チームは最終的に加工金属パネルとアウサレーションシステムの組み合わせを外装として用いる決断をしました。ジェフプライス氏は言います。「石工に比べて軽量で低コストであったことが、ドライビットのアウサレーションシステムを選んだ際の決定的な要因でした：更に、塗装レンガが美しさを際立たせ、問題を解決する最適な外装システムになりました。」マッキンタイア氏は更に、「ドライビットを使って、レンガや石灰岩、コンクリートを含む歴史的な建物の周りを全て取り替えることができました。」と述べています。

B&B 劇場の建設は金属パネルの位置決めを含め、着手から独特でした。「私たちが行ったのは、標準の建材金属パネルを出して、平らな金属面の大部分が表を向く様にしたことです。」プライス氏が言いました。ドライビットのアウサレーションはその後、外装(デングラスゴールド)シーリングの代わりに裏打ちとして、直接パネルに固定されました。



このスクリーンが 8 つある映画館の新建屋は、そんな歴史的な立地の隅であったため、伝統的な映画館のデザインでもありませんでした。物件の位置を考えた際、プライス氏には「大通りの正面では特に、建物の並びの効果を引き出す」という考えがありました。裏に駐車場があったので、建物は通りに出っ張っていました。建物のスケールを分ける様に、彼は建物の設置面を交互にずらし、パラペットを様々な高さに伸ばしました。その後、外装の特定の部位にドライビットのカスタムブリックを用い、また一部の部位は彫刻された石の土台で覆うことにしました。レンガの



ミズーリ州の歴史的な繁華街であるハンニバルの隅に位置していたため、新しい B&B 劇場の見た目を古典的な映画館にはしませんでした。ドライビット断熱システムは、レンガや石灰岩、コンクリートブロック、彫刻石を模倣するその能力により、建築家が望む長屋効果を正に実現しました。

部分を強調し構成をすっきりと整えるため、へこんだ面では色合いにモグラ色が選ばれました。プライスは続けます、「建物に2階建ての特徴を見せるために、私たちは「模倣した」閉まった窓やシャッター、板張りの外装でさえも、全てをドライビットアウサレーションで作製しました。玄関を角に置き、夜に入り口が誘導される様に2階建てのガラスに見立てて、ロビーを設計しました。」



ドライビットアウサレーションシステムを用いて、色々な処理をされた表面のある建物裏面に沿って「模倣した」板張りの空いた窓や敷居、シャッターを作りました。

「金属シーリングに直接、アウサレーションを取り付けることは本当に独特でした。」ドライビット資材を支給したシーリングサプライ社のマイクウェルチ氏は言います、「この物件はこの繁華街を復興させるだろうと街中の噂になりました。」

エントラップ乾式壁と塗装社のマイクエントラップ氏はこの現場の施工者ですが、ウェルチ氏の提言を強調しています。「これはいつも見ている現場とは違う。指示どおりに、2in の発泡の外装を金属シーリングにネジで直接機械的に固定しました。金属はあたかも排水システムの様子に作用します。もしアウサレーションの背面に水が不本意に侵入したら、水は金属屋根が排出するが如く、素直に排出されます。」

### 歴史的価値の保存—新機能による年代物の復活

「この歴史的風情のある町に合う建物を作ることはB&B劇場や地域の委員会、特ハンニバル歴史保存会には最重要項目でした。」とプライス氏は言います、「地域委員会は建物が町の歴史的風情に合うことを強く要望しています。北部と西部の街区は19世紀のレンガ造から成り、店頭が2~3階建てになっていました。屋根の看板が目印のマークトウェインホテルが南にあり、東には堤防とミシシッピ川がありました。私たちの建物だけで、街区の敷地の大部分を占め、残りの敷地は駐車場に必要でした。この歴史的風情に厳しい地区で、1階建ての複合映画館を連なった街区の印象を保ちながら建設することは大変な挑戦でした。」マッキンタイア氏は更に、「配色を含めた建物の設計や外装の承認のため、歴史保存の責任を持つハンニバル地域向上委員会を満足させる必要がありました。ジェフ氏は彼のその建物の設計を模様と色を統合した3Dモデルにしました。それは3つの部位がノコギリの刃の様に飛び出して見えるものでした。歴史委員会は、元々の要件に合致しているのみならず、期待以上のものだったと評しています。それにより、正にこの物件は彼らのものとなりました。隣接する銀行のグレイ色のレンガに合わせ、マークトウェイン博物館の赤とグレイのレンガに合わせて、ジェフ氏は本当に素晴らしい仕事をしました。」



言うまでもなく、圧倒された委員会はその計画を承認しました。」



交通量が多いので、建物の低層は衝撃強度を上げるためにドライビットのインターメディアイトメッシュを2層重ねて使いました。

「標準色と特注色の両方でドライビットの色がたくさんあることや、柔軟な製品のラインアップも、このような歴史的な町で必要な表面をすべて仕上げるためには重要な要素でした。」データー氏は続けます、「ドライビットのカスタムブリックに「ニューヨークブリック」テンプレートをを使い、レンガを模倣しました。色は特別にドライビットがB&Bに合わせて作ってくれました。「ココナッツシェル」が壁の低層と窓とドアに使われました。更に、「シェード」を目地部に、「サンドダラー」と「ドーバースカイ」を砂吹き石やコンクリートブロック、切石材の外観にする際に使いました。「モナストリブラウン」は植木箱の暗いブラウンを表現するために使いました。また、窓の緑の日除けに合わせるために「グリーン」も使用しました。」

やはり、この建物の計画は挑戦なしでは成り立ちませんでした。エントラップ氏は言います、「この仕事は、特に窓やシャッターは多くの細かい仕事が必要でした。多くの時間がEPSの切出しに使われ、できるだけ希望に添える様に実物の外観に仕上げました。でも、過去にドライビットアウサレーションを消防署や警察署に多く使ったことがあったので、職人は必要な技能を既に取得していました。加えて、川の側の仕事が多いため、厳しくて、寒くて、時速60マイル程の風が強い天候には慣れていました。テンプレートを壁に貼っておくのは困難でしたが、スプレー式接着剤を使用して端を濡らしておいたら上手く行きました。またこの現場は全体の75%を養生して保温しなければならず、多少の遅延を起こしました。」

アウサレーションシステムで使用する発泡スチロール(EPS)から彫り出されるモールディングは、ドライビットを使用する上で活用したいもう1つの利点であり、周囲の建物を見据えながら建物の雰囲気を整えるのに役立ちました。「直接1.5"のEPSを切り取り、化粧目地に溝を掘りました。」

エントラップ乾式壁と塗装社の主任であるジェレミーデーター氏は言います、「窓は押し出され、モールディングで窓敷居やシャッター、植木箱が模倣されました。交通量が多いので、建物の低層は衝撃強度を上げるためにドライビットのインターメディアイトメッシュを2層重ねて使いました。」



ドライビットのアウサレーションを使い、窓は押し出され、モールディングで窓敷居やシャッター、植木箱が模倣されました。

## 石積みよりも大幅な節約

費用についてプライス氏が述べています、「ここでの課題は、隣りを尊重しながら、現場予算の制約に収まる外郭構造を考えることでした。基礎の状態により、石積みよりもドライビットを使うことは究極な節約になりました。私は過去にほとんどの現場でドライビット製品を使っています。ドライビットは彫刻や重ね塗りによって多くの色やレリーフを作り、外装に多くの形状や細部を作成することができる、常に予算を重視できるデザインツールでした。」

「全体的に非常に高価な建築現場でしたが、一般的なシーリング(デングラスゴールド)の設置が不要になったため、ある程度の節約が実現し、また煉瓦工、大工、コンクリート/石工、塗装業者など色々な業者を雇う必要がありませんでした。私たちが従来の手法を使ったら、建築材料と人件費は大幅に増加したと思います。」とプライス氏が述べています。

## マーケットウェインでさえ建物を誇りに思うでしょう

ハンニバル B&B 劇場は今年 3 月にオープンし、ドライビットのアウトサレーションは文字通り脚光を浴びました。マッキンタイア氏が評しています、「製品は本当に信じられないものでした。劇場で使用された窓の日除けを売ってくれた通りの向こう側の隣人は、均一な色のドライビットカスタムレンガは元のレンガよりも見栄えが良いと評しました！みんなを喜ばせるのは難しいですが、この現場はやって見せました。」とマッキンタイア氏が評しました。



最後にマイクウェルチ氏より、「マーケットウェインが今日生きていたら、彼の少年時代のハンニバルの家がこんなに変わったことに驚くかもしれませんードライビットとこの現場に関わったすべての人に感謝します。」

ドライビットが提供するアウトサレーションシステムや他のシステム、製品に関する、より多くの情報については 1-800-556-7752 にお電話頂くか、[www.dryvit.com](http://www.dryvit.com) を参照ください。

